

2025 年度 高等学院同窓会学術研究奨励金 研究成果報告書概要 (WEB 公開用)

高等学院長
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [川俣 晴輝]

学年・組・番号 [2 年 F 組 23 番]

研究課題： 都市部における自然の増加を目的とする、どんぐりに関連した商品開発及び販売
(英文) Product development and sales related to acorns, aimed at increasing nature
in urban areas.

研究概要：

(研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について 200～400 字で記入してください)

＜目的＞世界人口の増加と気候変動を主とした環境問題は、食料品問題というグローバルな問題を引き起こした。昆虫食や代替肉、培養肉の開発が進む中、私たちが目を向けているのが「どんぐり」である。私たちは作った食品を実際に売ることができ、その収益を植林の費用に充てること、都市部の自然の保全につなげたい。

＜計画＞第一に、文献調査と専門家へのインタビュー調査である。どんぐりは、縄文時代の日本の採集食であり、民俗学的に様々な地方で今も食べられている。また、市民団体や企業でどんぐりに関する研究や商品販売をしている 4 つの団体にインタビュー調査をした。第二に、実践である。私たちは、企業のラボをお借りし、起業と共同でメニューを考え、試作品を作った。また、どんぐりの栄養が豊富であることをパケットテストを通して確認した。

＜方法＞この活動は本校公認の起業・投資プロジェクトの支援の下、実施されている。また、明治大学政治経済学部藤本稔彦教授及び多摩市の市民団体「多摩どんぐりの会」の代表を務める本橋篤氏から知見の提供を受けている。加えて、練馬区保健所、練馬区石神井保健相談所への訪問で、食品衛生法に基づく安全性についても聞き込み済みである。

研究成果：

(研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について 200～400 字で記入してください)

どんぐりについて得た知見をもとに、私たちは「DonOkoshi」という東京の伝統的な和菓子である、おこしをどんぐりのクランチを用いて作り、商品化し、販売するプランを立てた。対象顧客は、どんぐりの栄養や提供できる価格設定をもとに、エシカル志向な 40～60 代とした。このプランは、高校生向けの最大規模のビジネスプランコンテストである日本政策金融公庫主催、高校生ビジネスプラングランプリに提出した。そして、セミファイナリスト (上位 20 プラン) に入賞した。また、これにより 1 月 23 日に行われる高校生ビジネスプラングランプリ・東京大会への出場権を獲得した。当大会では、東京都知事賞の受賞を目指す。

研究者：(以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する)

研究代表者 2 年 F 組 川俣 晴輝

研究分担者 2 年 F 組 佐藤 優乃介 2 年 F 組 蒲地 樹 1 年 A 組 堀越 啓介
1 年 D 組 加藤 岳 1 年 J 組 草加 優真

担当教諭 後藤 潤平

(受給額： 25,000 円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名が WEB ページ上で公開されることに同意します
(次のページに続きます)

研究成果写真：

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)



以上